

# わたしの聖戦

女性が働くことについて 13

医学ジャーナリスト 稲田美津江

占いで商いをする時代

占いビジネスが大流行  
だという。しかも、その  
ほとんどが女性だとか。  
一説には一兆円規模の市  
場というから凄い。星占  
いや手相、四柱推命、血  
液型、タロットカード、

お客を取り始めるケース  
がほとんど。副業感覚で  
お小遣い程度のお金を稼ぐ  
人もあれば、人気が出  
て10人くらいのスタッフ  
を抱える会社を作った人  
もある。

干支などなど占いの種類は数多い。テレビや週刊誌、新聞などにも占いのコーナーがある。まずはそのページを開くといふ人も多いだろうが、それにしても、仕事として占いに挑戦する人がそれほど多いとは知らなかつた。

OLを中心に、今の仕事に今ひとつやりがいを感じない女性たちが、アソターファイブのお稽古

いくつになつても、出身校だとか社内の派閥とかこれまでの業績だとか、どうでもいいようなキヤリアにしがみついて懲々とする傾向は圧倒的に男性に強い。

占いの学校に通つてスキンを磨き、ビジネスを

A black and white illustration showing a dense crowd of people on a city street at night. Buildings with lit windows are visible in the background, and streetlights illuminate the scene. The style is reminiscent of early 20th-century newspaper illustrations.



始めると聞いてちょっと  
怪訝(けげん)に感じた  
ことがある。占いとは  
一学ぶ一ものなのか、と  
いうことである。これは  
私がその道に詳しくない  
からだろうが、占いとか  
占い師に対しては、もつ  
と神秘に満ちた世界を想

奇心いっぱい遠巻きに見ていたのだ。

ある程度素質というものは必要だろうが、「学校」で「背う」と聞いてちょっと意外、古いは思つていたよりもずっと科学的な要素を秘めているのだろうか。

もうひとつ  
考えさせられたのは、占いにはギャンブルという側面もあるように感じていた”  
「当たるも八卦」といわれるようになると、例えば占いの助言に従うときには、必ずしもその頃のもの

男性の言い分は「そのほうが聞ける楽しみがあるから」とのこと、つまり男性にはギャンブラーとしての素質がより強いということを示していた。

イチかバチか、のるかそ  
るか、の気迫にどこか似  
たものがある。しかしこ  
れも少し違うようだ。

財愛知診斷技術振興財團理事・研究所長

同じ大きさの箱をテープ  
ルにたくさん並べておく  
真中を仕切り、片方の箱

イラスト・三浦義雄